

日時：2018年3月31日（土）10:00～13:45

場所：東洋大学 白山キャンパス 8号館 中2階 第2会議室

出席：渡邊芳之理事長、藤田主一副理事長、尾見康博、加藤 司、松田英子、荒川 歩、  
北村英哉、山崎晴美、中村 真

欠席：小塩真司（審議事項を理事長に委任）

## 日本パーソナリティ心理学会第127回常任理事会

### 報告事項

#### I 理事長挨拶

#### II 各種委員会報告

##### 1 機関誌編集委員会（加藤委員長）

##### (1) 第26巻第3号以降の編集状況について

加藤委員長より、第26巻は通巻305頁となる見込みであり、第3号は原著9篇、ショート7篇の予定であること、加えて、原著8篇、ショート8篇が採択された旨の報告があった。また、審査状況は、不採択が少なく、取り下げもほとんどないとの説明があった。渡邊理事長より、早期公開はどのような状況かという質問があり、公開は採択の日付順ではなく、採択された著者の対応が済み次第、順次公開されているとの回答があった（加藤委員長）。藤田副理事長より、採択率について質問があり、採択率を算出するのは容易ではないが、大よそ58～59%程度ではないかとの回答があった（加藤委員長）。

##### (2) 審査状況

月	採択	審査中	修正中	不採択	取下	投稿数
9	3	18	10	2	0	4
10	4	12	19	1	0	2
11	3	19	9	3	1	13
12	0	23	10	2	0	7
1	3	19	16	0	1	5
2	5	16	11	3	1	3
3	7	14	13	1	2	7

##### (3) J-STAGE の論文集アップについて

加藤委員長より、日本性格心理学会発表論文集・日本パーソナリティ心理学会発表論文集の電子版への移行処理が完了したとの報告があった。移行手続きは国際文献社に依頼しているため、論文集データは同社が取り扱いやすい形式であることが望ましい。今後の大会発表論文集の移行手続きがスムーズにいくように、まず、第27回大会については加藤委員長が国際文献の担当者に依頼して資料（データ形式がわかるもの）を出してもらい、その内容を山崎学会活性化委員長を通じて大会主催校に伝えること、併せて、同資料を大会実施マニ

ュアルにも記載することを申し合わせた。

## 2 経常的研究交流委員会（荒川委員長）

### (1)大会外企画報告

2018年3月29日～30日に実施したコロキウムの参加者数について報告があった。参加者数は、コロキウム1（心理学教育）が9名（非会員2名、会員7名）、コロキウム2（道徳）およびコロキウム3（AI）が32名（非会員17名、会員15名）であった。併せて同企画の実施に伴う収支報告があった。

### (2)大会前日企画の報告（MPP）

第26回大会前日に行われたMPPについて、参加者数（10名）および収支報告があった。

### (3)プラットフォーム企画報告

2018年3月16日に対面会議（参加者4名）が行われ、GW明け～5月末に尺度・仮説などをML上で持ち寄り、9月～10月に調査を実施すること、分量としてはデモグラフィック項目を含めて120項目程度を想定し、MTurkやCrowdworksで10,000人規模のデータを収集すること、内容としては、一般の人の抱く心理学観、ないしは「こころ観」を調査することから始めることを申し合せた旨の報告があった。併せて同会議の実施に伴う収支報告があった。

### (4)ツイッター企画

フォロワーは260名程度であるとの報告があった。

## 3 広報委員会（松田委員長）

### (1)活動報告

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信などの活動内容が報告された。

### (2)YPP2018について

第126回常任理事会において報告された実行委員会メンバー（沼田真美、赤松大輔、古賀佳樹、唐音啓(敬称略)）、および、広報委員会の1年目委員が共同して企画内容の打ち合わせを行っているとの報告があった。併せて、会場については主催校と折衝中であること、テーマについては「精力的に研究を進めるためには」といった主旨になる見込みであるとの報告があった。

### (3)WEBサイト外部委託進捗状況

学会WEBページの外注について、チェロトーン社にプレゼンしてもらい、質疑応答を行った。その後、審議を行い、同社に対して、ウェブリニューアル（フル移行）、ウェブサイト運用標準サポートというプランで外注するという基本方針を常任理事会として承認した。

#### 4 国際交流委員会（小塩委員長欠席により中村事務局長が代理報告）

##### (1)大会時企画報告

大会準備委員会が Barbara Krahé 先生を招聘予定であること、国際交流委員会では部分的サポートを行い、大会期間中の宿泊費（5万円）と謝礼（5万円）の支出を予定していること、スケジュールは 8/25 早朝に大阪着、8/26-27 学会、9/1 帰国予定である旨の報告があった。

#### 5 学会活性化委員会（山崎委員長）

##### (1)第 26 回大会優秀大会発表賞について

第 126 回常任理事会で承認された以下の 3 件について、責任発表者の受賞の意思確認が得られ確定した。広報を依頼するとともに、副賞の懇親会招待についてお伝えしたとの報告があった。

PB12 議論の中で人はどのような変化を見せるのか—模擬裁判員裁判・評議のテキスト分析から—

○若林 宏輔／立命館大学文学部

PB36 企業における「新型うつ」事例に対するイメージの実態把握—従来型うつ病事例との比較に基づいて—

○樫原 潤／日本大学文理学部・日本学術振興会、亀山 晶子／日本大学、山川 樹／日本大学、村中 昌紀／日本大学、坂本真士／日本大学

PC02 向社会的行為者の行動予測の発達変化

○二村 郁美／名古屋大学・日本学術振興会、島 義弘／鹿児島大学

なお、PB36 については、筆頭者が大会時不在（海外）につき、第二発表者の山川氏に賞状を授与してほしい旨の依頼を受けたことを踏まえて、懇親会の招待も同氏を対象とする旨を常任理事会として承認した。

##### (2)20 周年記念事業：学会ロゴマークの募集について

同募集について、募集締め切りは 2017 年 12 月 31 日であったが、応募作品が少なかったため応募期間を 1 ヶ月延長し、最終的に応募者 7 名 16 作品の応募があったこと、2 段階審査を行い、第 1 段階で 3 作品に絞り、第 2 次審査で東京大学大学院教育学研究科大久保圭介殿の応募作を推薦することに決定したとの報告があった（別紙資料）。常任理事会として、この決定を承認した。併せて、同作品を正式に本学会のロゴマークとして認定するための手続きとして、デザイナーにチェックを依頼することを承認した。

学会ロゴマークポスターについては、3 月送付を予定していたが、応募／審査期間が伸びたため、7 月の第 1 号に同封したいので、コンセプトとなる本学会のセールスポイント、特徴(長所・個性)については、各委員会委員のご意見も参考にしたいとの依頼があった。7 月発行予定の機関誌第 27 巻第 1 号の中に記載（1 ページ）してはどうか（渡邊理事長、加藤編集委員長）との意見があり、その方針で進めることを申し合わせた。

##### (3)第 27 回大会優秀大会発表賞について

同賞の審査方針について、抄録にて 1 次審査を行い、2 次審査対象者に大会前にポスター

を提出していただき、そのポスターを対象として審査を行うこと、1次審査は例年通り編集委員会委員にお願いしたいこと、2次審査は学会理事・監事および大会準備委員長にご協力いただくこと、受賞者の表彰を27回大会の懇親会にて行うとの報告があった。また、審査日程、ポスター投稿様式、2次審査審査基準については、早急に委員会で案を作成するとの方針が示された。

#### (4)第27回大会支援について

大会主催校から要望があれば協力したい、また、大会終了後、本年の準備委員会の記録を『大会ハンドブック』に加え、次期主催校へ送付したい旨の報告があった。

#### (5)委員会記録について

第27回大会時に現委員が任期を終えるため、交替に支障が無いよう活動記録を整理し、発表賞審査については前方式、新方式とも手続きを記録に残したいとの方針が示された。

#### 6 学会賞選考委員会（北村委員長）

2018年3月29日に理事を対象にメールにて学会賞対象論文の推薦依頼を行い、5月6日に推薦を締め切ること、その後、学会賞選考委員会において一次審査を行うとの報告があった。

### Ⅲ 日本心理学諸学会連合

#### 1 日心連理事会について（渡邊理事長）

2017年12月17日に開催されたが、常任理事会において審議を要する事項は特にないとの報告があった。

#### 2 心理学検定について（藤田副理事長）

現在、心理学検定の規程を検討している旨の報告があった。

### Ⅳ 第27回大会準備状況について

大会時に開催される理事会の日程について検討し、大会前日の8月25日午後（可能であれば遅い時間帯）に理事会と理事懇親会を開催するという方針を確認し、渡邊理事長から主催校側にこの方針を伝えることを申し合わせた。

## 審議事項

### I 財務関連事項（尾見財務担当常任理事）

2018年度予算案について審議を行い、学会ウェブページ外注に関する広報委員会の予算を増額すること、学会活性化予算に学会ロゴマーク選定にかかわる費目を加えることを申し合わせた。

II 来年度の名誉会員推挙について  
継続検討することを申し合わせた。

### III 第26回大会の収支について

別紙のとおり、収支を精査していただいたうえで収支決算書を再提出してもらったところ、赤字額は大幅に減額され8万円余りが計上された。理事長から、学会として赤字分を補填することが提案され、承認された。

### IV 次期役員選挙について（藤田選挙管理委員長）

選挙管理委員会の委員構成および選挙スケジュールについて、以下の通り提案され、審議の結果、承認された。

委員長：藤田主一（学会副理事長、日本体育大学）

委員：中村 真（学会事務局長、江戸川大学）

委員：薊 理津子（江戸川大学）

#### 選挙のスケジュール

3月19日・・・「選挙案内」を郵送（済）

3月20日・・・「選挙案内」を郵送した旨をメールにて告知（済）

3月28日・・・選挙スケジュールおよび2017年度年会費を2018年3月31日までに納入していない場合は選挙権・被選挙権が失効となる旨を再度メールにて告知

5月1日（午前10時）・・・Web投票による理事・監事選挙を開始

5月25日（午後5時）・・・投票締切

6月上旬（予定）・・・選挙管理委員会において郵送による投票を開票し、Webによる投票と合わせて集計し、当選者（理事20名、幹事2名）を確定する。同数票の場合は抽選を行って決定する。

6月上旬～中旬（予定）・・・当選者に役員就任の諾否を問い合わせる。辞退がある場合は、次点者を繰り上げ当選とする。

6月下旬（予定）・・・理事の互選（Web投票）により理事長1名および常任理事7名を選出する。

第128回常任理事会、第27回理事会、第27回総会における承認をもって次期役員を正式決定する。

### V 国際文献社との2018年度事務委託契約について

審議の結果、原案通り承認された。

### VI 公認心理師養成大学教員連絡協議会 加盟団体への登録について

審議の結果、加盟を決定した。

VII 日本学術振興会「育志賞」受賞候補者の推薦について  
該当者がいれば推薦することを申し合わせた。

VIII 第 126 回常任理事会議事録の件  
審議の結果、同議事録案が承認された。

IX 会員の入退会に関する件

事務局より、新入会希望者 18 名（うち 13 名は ML 審議にて承認済み）、大会希望者 32 名の一覧が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2018 年 3 月 21 日現在、会員総数は 921 名である。内訳は、一般会員 671 名、院生会員 235 名、学生会員 4 名、名誉会員 8 名、賛助会員 3 名。

※今回審議対象の新規入会希望者 5 名は含まれない。

X その他

次回の常任理事会を 6 月 30 日（土）15:00 から東洋大学で行うことを申し合わせた。